



明日から期末考査です！

	1 限	2 限	3 限
7/2 (木)	現代文	生物基礎	授業 (6限まで)
7/3 (金)	英表Ⅱ	家庭基礎	数学α
7/6 (月)	古典B	保健	物理基礎
7/7 (火)	日史・地理	数学β	C英語Ⅱ

4 限 「総合」あり

わかっているとは思いますが、念のため時間割の確認です。七夕もあります、流れ星や天の川に願いを込めて「いい点数が取れますように。」などをお願いをするよりも、机に向かいましょう。

また、「考査後に提出」という指示のある課題もたくさんあるはず。毎度のことですが「課題をすべて出し終えるまでが期末考査」です。計画的に学習をしてください。



2 年生第 1 回 「進研模試」の案内

考査後には、新年度初の模擬試験も実施されます。今回からの大きな特徴は「志望校を書くことができる」点。志望校選びや判定の見方については別の号の「Fly high」に譲りますが、せっかくのサービスです。目標得点の登録なども含めて、有効に活用してください。

1 期 日 7月11日 (土)

2 日 程	8:30 ~ 8:50 (20分)	受験カード記入
	9:00 ~ 10:20 (80分)	国語
	10:30 ~ 12:10 (100分)	数学B
	12:10 ~ 12:55 (45分)	昼食休憩
	12:55 ~ 14:25 (90分)	英語
	14:25 ~ 14:55 (30分)	自己採点

～模擬試験までにすべきこと～

- ① 過去問を解いて傾向を分析しよう！
- ② デジタルサービスの登録は7/9 (木) までに済ませよう！
- ③ 志望校がバランス良く4つ記入できるように、情報収集をしよう！

今回は、「就職率」についてちょっとひねくれた視点で考えて見よう、という内容でした。学校選びのうえで数字や数値はとても参考になりますが、その数字はある程度都合良く「操作されている可能性」があるということでしたよね。今回も「学校選び」と「就職」について考えてみましょう。

1. 「過去の就職実績」の見方を学ぼう

学校案内には必ず「過去の就職実績」を紹介するページがあります。当たり前のことですが、このページの見方にも注意が必要です。

卒業生の主な進路先の欄にどれだけたくさん企業名が並んでいても、それが「過去5年の実績」なのか「今年の春の卒業生の実績」なのかではまったく意味が違ってきます。

同様に、その**就職が正社員としての就職なのか、それとも雇用年数に制限があったり、1年ごとに契約を更新しなければならなかったりする「非正規雇用」としての就職なのか、はたまた「アルバイト・パート扱い」としての就職なのか、では大きな差があるはず**です。(ほとんどの人は「正規雇用」をめざして進学するはずですよ。非正規雇用やパート労働を悪くいうつもりはありませんが、その「目標」とは違っているはず。)

ですので、そのあたりのことが曖昧になっている学校紹介を見つけたら「おや？おかしいぞ。正社員としてどのくらいの人を採用されたのだろう？」と思えるくらいの感覚は持っていたいですね。

昨今の「厳しい目」に配慮してか「就職した人がいても、異業種の企業名だったら載せない。」という学校もあるでしょう。注意したいですし、そういう情報こそ、オープンキャンパスなどで学校の人に直接問い合わせてみたいところですね。(高校生にはなかなか難しいとは思いますが。)

2. 「資格をとること」=「就職の成功」ではないことを知ろう

就職のために資格が必要になることはあっても、資格があれば就職できるとは限りません。資格を持っていないとできない仕事は山ほどあるけれど、資格を持っていれば理想の就職ができるとは限らない、ということです。

職業や、人々の職業観が多様化した現代では、「資格」=「手に職」=「就職の成功」の公式は、もう成り立っていません。(※生意気なようですが、このあたりのことは保護者の方にもよく理解していただけたらと思います。)現代の就職に必要なのは、コミュニケーション能力や協調性、発想力や思考力、勤勉性や礼儀正しさ、一般常識、などなどの「バランスのとれた総合力」なのです。

資格を取ることだけを目標に進学先を決めるのはやめにして、それらの総合力を身につけられる学校はどこか、どの学校ならばその力を伸ばす環境が整っているか、という視点で学校を選びましょう。



→ 裏面に7月の月間行事予定表を掲載しました。